

入試情報

| 入 試 日 | 願 書 提 出 | 合 格 発 表 | 内 申 点 計 算 方 法 |
|--|-------------------|---------|---|
| 学力検査: 3/8(火) 面接: 3/9(水) | 2/22(月) ~24(水) | 3/16(水) | 3年のみ採用。65点満点(副教科は2倍) 高校によって内申点は2~4倍で評価される。 |

教育のプロ
トライさん



傾向

学力試験250点満点と内申点(130点~260点)の総合点で合否判定を行う。
 普通科進学校は学力:内申=250:130で学力検査重視の学校がほとんどである。
 その他の多くの学校では学力:内申=250:195を採用しているが
 境港総合技術高校と日野高校のみ250:260と内申点重視の配点となっている。
 鳥取工業高校理数工学科は数+英or理の得点を2倍で計算するので350:195の配点比率となる。

科目別対策

英 語

大問5問構成。
リスニング、短い会話文形式の出題、文章読解3題が出題されている。文章内容は難しくはないが、普段から長文を読み慣れていないと時間がかかる問題である。問題集を使って長文読解を繰り返す必要がある。全体的に記述で答えさせる問題が多いので作文練習やスペルミスを防ぐ学習も行ってほしい。

数 学

大問5問構成。
大問1の小問集合では計算のから関数・図形までの、基本的な知識を問う問題が出題される。大問1の配点が全体の4割を占めるので確実に得点できるように学習すること。大問2~5は方程式・確率・関数・図形などの応用問題が出題される。過去問を用いて、近年の出題パターンに慣れるようにしよう。

国 語

大問5問構成。
大問1は国語の基礎知識を問う問題で他県には見られない出題形式。文法や書道の基礎知識を復習しよう。長文は評論と小説が各1問ずつ出題。記述が多いので時間配分に気をつけよう。古文に関しては現代仮名遣いの確認と内容把握の対策をしっかりと行うこと。作文は配点6点と高いため練習をして得点源としたい。

理 科

大問8問構成。
生物・地学・化学・物理各分野から2題ずつ出題。出題単元に偏りはなく、全体をしっかりと学習することが求められる。問題数が約40問と多いため、基本問題も応用問題も配点があまり変わらない。そのため、基本問題での取りこぼしをなくすることが高得点のカギとなる。

社 会

大問4問構成。
地理、歴史、公民から1題ずつと総合問題1題の出題。記述式と選択式が半々で出題され、他県と比べると記述問題が多い。基礎的事項を問う問題が多いが、グラフや図を読み取らせる問題や字数や使用語句が指定されている問題も出題される。高得点を取るには記述問題対策が必須となる。